

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 NKKスイッチズ株式会社
 コード番号 6943 URL <http://www.nkkswitches.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大橋 智成
 (氏名) 市川 忠夫
 配当支払開始予定日

TEL 044-813-8026
 平成26年12月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,089	14.6	408	38.8	452	38.1	223	1.1
26年3月期第2四半期	3,568	△0.2	294	△4.6	327	16.5	221	2.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 411百万円 (32.6%) 26年3月期第2四半期 310百万円 (190.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	27.18	—
26年3月期第2四半期	26.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	13,871	11,253	81.1	1,366.92
26年3月期	13,354	10,883	81.5	1,321.82

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 11,253百万円 26年3月期 10,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	9.9	700	9.3	720	1.7	470	8.4	57.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	8,425,200 株	26年3月期	8,425,200 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	192,520 株	26年3月期	191,716 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	8,233,140 株	26年3月期2Q	8,234,756 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載しております業務見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、「添付資料」の2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府や日銀の経済・金融政策が奏効し、企業収益や雇用環境の改善が見られましたが、一方で、消費税増税による負担増、原材料やガソリン価格が高値で推移していることから、依然として先行きには不透明な状態が続いております。海外においては、北米では雇用環境や企業業績への期待感が復調した一方で、欧州や中東、香港などでは地政学的リスクの高まりから、総じて不安定な状況が続いております。

当社の属する産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場におきましては、前年度後半から低レベルながらマーケットが改善しており、前年比105.4%と回復傾向を見せております。

こうした中、平成26年4月よりスタートした新中期経営計画「Accomplish100」において、今後さらにグローバル化・ボーダーレス化が加速される中、「世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番選ばれるスイッチサプライヤー」となるべく、これまで前中期経営計画で強化してきた北米市場に、日本市場、アジア市場を加えターゲット市場と定め、さらにカタログディストリビューターとの関係強化による売上拡大だけでなく、当社グループの強みでもあるセールスネットワークでさえもカバーすることが困難な業種や地域への販売範囲拡大を求めて、世界に広がるインターネットをフル活用したビジネスモデルを構築してまいります。また、当社は「品質・技術」を武器に60年間産業用スイッチ筋に成長してまいりましたが、一部で当社製品をご利用いただいているお客様に迷惑をおかけしております。当社は今後とも「品質・技術」を重視し、ものづくりメーカーとして研究力・開発力・品質力のさらなる向上に努め、お客様に最も信頼されるグローバルカンパニーとなるように努力してまいります。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は40億8千9百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益は4億8百万円（前年同期比38.8%増）、経常利益は4億5千2百万円（前年同期比38.1%増）、四半期純利益は2億2千3百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

当社グループは世界を一つの市場と捉え、グループ各社の垣根を越えた総合力で、産業用スイッチ分野で世界のトップを目指してまいります。

セグメントの概況は次の通りであります。

① 日本

日本国内は、円安や株高を背景に企業業績が回復基調で推移し、設備投資を計画している企業が増加する中、既存取引先の受注増加や新規取引先の受注獲得により、当第2四半期連結累計期間の売上高は32億4千2百万円（前年同期比21.2%増）、外部顧客向売上高は23億4千9百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

② 米国

中期経営計画「Accomplish100」において、キーである北米市場に対し積極的な販売活動に取り組んだ結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13億2千3百万円（前年同期比20.1%増）、外部顧客向売上高は13億2千2百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

③ アジア

当社はアジアの中でも中国を日本、北米に続く第三の市場と位置づけております。中国市場においてもNKKブランドの認知度は徐々に浸透しつつあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、17億7千5百万円（前年同期比84.8%増）、外部顧客向売上高は4億1千7百万円（前年同期比21.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

資産合計は138億7千1百万円（前連結会計年度末比5億1千7百万円の増加）となりました。

主な要因は、商品及び製品の増加（前連結会計年度末比3億5千8百万円の増加）、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比1億2千2百万円の増加）によるものであります。

② 負債

負債合計は26億1千8百万円（前連結会計年度末比1億4千7百万円の増加）となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（前連結会計年度末比4千万円の増加）、未払法人税等の増加（前連結会計年度末比8千5百万円の増加）によるものであります。

③ 純資産

純資産合計は112億5千3百万円（前連結会計年度末比3億7千万円の増加）となりました。

主な要因は、四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比1億8千2百万円の増加）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末比1億8百万円の増加）、その他有価証券評価差額金の増加（前連結会計年度末比7千9百万円の増加）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月16日付にて公表した連結業績予想につきましては変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,960,142	6,082,548
受取手形及び売掛金	1,473,704	1,476,521
商品及び製品	870,022	1,229,012
仕掛品	125,710	135,961
原材料及び貯蔵品	1,375,409	1,298,978
繰延税金資産	111,467	129,782
その他	90,043	131,900
貸倒引当金	△2,783	△2,818
流動資産合計	10,003,716	10,481,887
固定資産		
有形固定資産	1,443,537	1,426,909
無形固定資産	603,610	536,359
投資その他の資産	1,303,524	1,426,794
固定資産合計	3,350,672	3,390,063
資産合計	13,354,388	13,871,950
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,226,269	1,267,188
未払法人税等	67,905	153,517
引当金	120,588	105,140
その他	547,582	557,104
流動負債合計	1,962,345	2,082,951
固定負債		
繰延税金負債	118,900	150,779
役員退職慰労引当金	175,900	142,150
退職給付に係る負債	97,122	126,192
その他	116,918	116,473
固定負債合計	508,841	535,595
負債合計	2,471,186	2,618,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,134,361	9,316,960
自己株式	△159,491	△160,004
株主資本合計	10,759,974	10,942,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	236,602	315,983
為替換算調整勘定	△113,375	△4,639
その他の包括利益累計額合計	123,227	311,343
純資産合計	10,883,202	11,253,403
負債純資産合計	13,354,388	13,871,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,568,525	4,089,310
売上原価	2,051,747	2,286,476
売上総利益	1,516,778	1,802,833
販売費及び一般管理費	1,222,631	1,394,480
営業利益	294,146	408,353
営業外収益		
受取配当金	13,862	14,383
為替差益	22,429	34,009
受取賃貸料	4,337	5,154
その他	5,357	4,850
営業外収益合計	45,987	58,398
営業外費用		
支払利息	661	697
売上割引	9,087	10,888
賃貸収入原価	2,503	2,414
その他	368	346
営業外費用合計	12,621	14,346
経常利益	327,513	452,405
特別損失		
固定資産除却損	6,843	871
特別損失合計	6,843	871
税金等調整前四半期純利益	320,669	451,533
法人税、住民税及び事業税	112,080	253,086
法人税等調整額	△12,724	△25,318
法人税等合計	99,356	227,768
少数株主損益調整前四半期純利益	221,313	223,765
少数株主利益	—	—
四半期純利益	221,313	223,765

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	221,313	223,765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,989	79,380
為替換算調整勘定	47,238	108,735
その他の包括利益合計	89,227	188,116
四半期包括利益	310,541	411,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	310,541	411,882
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年10月24日開催の取締役会において、下記のとおり子会社を設立することを決議いたしました。

1. 設立の目的

中国における当社グループ向け製品の生産を、当社子会社のNKK SWITCHES HONG KONG CO., LTD. が行っておりますが、これに加えて、生産体制の強化のため、中国現地に子会社を設立いたします。

2. 設立する子会社の概要

- (1) 商号 : 恩楷楷(東莞)開關有限公司 (仮称)
- (2) 所在地 : 中国広東省東莞市清溪鎮漁梁圍管理区 漁梁圍名立工業城内
- (3) 代表者 : 加藤昌弘 (当社社員)
- (4) 資本金 : 100万USD (予定)
- (5) 決算期 : 12月
- (6) 株主構成 : 当社100%
- (7) 設立日 : 2015年1月 (予定)
- (8) 事業内容 : 中国におけるスイッチの製造